

文協だより

第24号

発行 NPO法人東村山市文化協会
 会長 大井 芳文
 編集 東村山市文化協会広報部
 発行日 令和2年10月1日



曼珠沙華 北山公園

ご挨拶

NPO法人東村山市文化協会
 会長 大井 芳文

この度、東村山市文化協会第五代会長にご推薦いただきました。

微力な私にこのような大任が務まるか逡巡しましたが、多くの方々のご推薦を受け止めお受けいたしました。



本協会は、昭和53年3月に東村山市文化連盟として発足し、平成10年に東村山市文化協会と改称し、平成21年にはNPO法人化して認定されました。

この間42年と長い歴史を重ねて参りましたが、本協会がここまで発展してきましたのも、歴代の

会長を中心とした文化協会を構成する各団体会員の皆様、また、東村山市・東村山市教育委員会や市民の皆様のご支援・ご協力のおかげと感謝申し上げます。

本年は「新型コロナウイルス感染症」の爆発的拡大のため世界中が混乱に陥っております。今までのような活動がいつ再開できるか不透明の部分もありますが、これまで築いてきました文化活動を継承し東村山市の文化芸術の更なる発展のため、東村山市、各会員のご支援を賜りながら勤めを果たして参りたいと思います。

今後共ご支援ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。



目次

	目次
1	会長就任挨拶
2	フレッシュコンサート 市民文化のつどい案内 文化協会総会報告
3	文化の輪 会長退任挨拶 文化協会加盟団体動向
4	議会ミニミニコンサート 協会会員・賛助会員一覧



フレッシュコンサート

次世代を担う音楽家の皆さんに活動の場を広く提供すると共に東村山市民並びに近隣の皆さんに音楽に出会える場を提供することを目的として東村山市、東村山市教育委員会主催並びに東村山市文化協会の共催で、東村山フレッシュコンサートを開催致します。令和2年8月に行われたオーディションには新人部門・学生部門でそれぞれ10組の合計20組の応募があり、多くの学生、若き音楽家が挑戦され、10組10名が選ばれました。

本年は打楽器からはマリンバ、管楽器はユーフォニウム、サクソフォン、フルート、弦楽器はチェロ、また声楽、ピアノと多くの出演者がいました。

本番のフレッシュコンサートは次の通り開催致します。

1日時 令和2年11月15日(日)

午後2時開演

2会場 東村山市立中央公民館

※演奏中の入場はできません。

※コロナ感染対策上公演中止、或は延期や変更になる場合もございますのでご了承ください。

詳細は東村山市報をはじめとする各公報をご参照くださいますようお願いいたします。



掲載いたしました写真は
全て昨年度開催の様子

～市民で創る 文化の祭典～

第29回東村山市民文化のつどい

今年の市民文化のつどいは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

来年度は、新型コロナ感染が収束することを願って開催を予定しています。

つどいプログラムに次回のご案内を載せていますが、今回はそれが叶いませんでしたので、ご案内をそのまま文協だよりに掲載することに致しました。

皆さんの参加を心からお待ち申し上げます。

【と き】 令和3年5月29日(土)・30日(日)

ホールのみ6月5日(土)6日(日)

【と ころ】 東村山市立中央公民館

【内 容】 展示・集会・ホール部門・体験コーナー

【趣 旨】 市民文化の発表を通じ、市民文化の発展とともに、ふれあいを深め、生活に潤いを与え、心豊かな東村山市の構築に寄与する。



昨年度の様子



令和2年度総会報告

本協会総会は例年5月に開催しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、議案の賛否を書面で集計する「書面表決」の方法でみなし総会を実施いたしました。その結果、令和元年度事業報告、決算報告、監査報告及び令和2・3年度理事・監査の改選の全ての議案について賛成をもって承認されました。

会員の皆様におかれましては、お忙しいところ書類の確認と文書の返信

等にご協力頂き、誠にありがとうございました。

総会後の初理事会を6月16日に開催し、令和2・3年度会長に大井芳文氏、副会長に金子邦雄氏と酒井高子氏を選出しました。

また理事全員の提案で山川前会長を本協会顧問に推薦いたしました。

なお、永年に亘り当協会の理事を勤めた大竹迪子氏、横井時信氏が勇退しました。なお、令和2・3年度役員は右に掲載の通りです。

新役員一覧表

名誉顧問	青木 鈴墓
顧問	山川 昌子
参 与	西 義一
同	鎌田 敏雄
会 長	大井 芳文
副会長	酒井 高子
副会長	金子 邦雄
総務部 部長	村山 保夫
同 副部長	保坂 宏
同	小島 彰
事業部 部長	金子 邦雄
同 副部長	古越あや子
広報部 部長	唐沢 四郎
同 副部長	北沢恵津子
財政部 部長	古川 憲
同 副部長	大隈 信子
同	安原 芳恵
監 事	小町 勝美
同	遠藤 剛之

令和2年度事業計画

- 10月 文化協会第4回理事会
- 11月 第26回フレッシュコンサート開催
- 12月 第88回議会ミニミニコンサート
- 12月 文化協会第5回理事会
- 1月 文化協会第6回理事会
- 2月 文化協会新年会
- 2月 文化協会第7回理事会
- 3月 第89回議会ミニミニコンサート
- 3月 文化協会第8回理事会
- 3月 第29回市民文化のつどい準備会
実行委員会

東村山市副市長
野崎 満ぶんかのわ
(文化の輪)このコーナーは市内に居住・勤務する
方々に順次登場していただきます。

NPO法人東村山市文化協会の皆様におかれましては、日頃より市民の文化の振興・発展に多大なるご尽力・ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

初めに、令和2年5月末日をもって、会長をご勇退されました、山川前会長におかれましては、多年にわたり、東村山市の文化・芸術のひがしむらやまし振興に多大なるご尽力いただき、心より敬意と感謝を申し上げます。貴協会の皆様におかれましては、「議会でのミニミニコンサート」や「市民文化のつどい」では、ダンス・演奏・舞踊・写真・絵画・盆栽・書道等、様々な文化活動の成果を披露していただくことで、多くの市民の方々に伝統文化に触れあう機会を提供していただいている他、「フレッシュコンサート」におきましては、才能ある若手演奏者に発



表の場を提供していただき文化活動の更なる発展に寄与していただき感謝申し上げます。

今年度、市といたしましては、東京2020年オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、当市が中国のホストタウンであることから、スポーツのみだけでなく、文化の魅力を発信すべく、貴協会と連携して「東村山文化・芸能フェスティバル」を開催する予定でございました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、出演者やご来場される皆様の安全を考慮し、来年度へ延期させていただきました。

人生100年時代と言われている今日、市といたしましては、今後も市民の皆様誰もが気軽に文化・芸能活動に親しみ取り組める環境整備を図ってまいりますので、市民文化・芸術活動の更なる発展にお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

退任のご挨拶 山川 昌子

文化協会会員、役員の皆様、日頃から会の活動をご支援下さる市長、議長、議員、教育部の皆様ありがとうございました。

平成26年6月に第4代会長に就任してから、3期6年の間大変にお世話になりました。

昭和53年に「東村山市文化連盟」として発足した折に東村山書道連盟も参加いたしました。

文化協会の初代会長に武田芳雄氏が就任され、第2代天野林作会長、第3代村上俊三会長となり、それぞれが役員共々市の文化芸術の振興発展に寄与されてきました。

第4代会長として会設立からの状況を知る一人として、



先輩諸兄に恥じない活動を目指して会員、役員の皆さんと共に頑張ってきました。

6年間にわたり大過なく任務を果たせましたのも、ひとえに関係各位の温かいご理解とご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。後任には長年東村山市の各分野で教育文化の発展に関わってきた大井芳文氏に引き継ぐことができ本会の更なる発展を期待しております。

これからは、東村山市書道連盟の会長として文化協会活動の下支えをする所存でございます。

今後共本協会のために皆様のより一層のご指導、ご厚誼を賜りますよう伏してお願い申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



創立40周年

東村山写真クラブは昭和53年に発足し本年11月で創立40周年を迎えることになりました。文化協会の各団体、市民の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

本年は40周年記念行事を計画いたしました、新型コロナウイルスの感染防止の観点から撮影活動など自粛が余儀なくされています。

今年は東村山市の年中行事等を記録し写真展の開催を計画しましたが、市の各行事、催しなどが相次いで中止や延期となっています。

以上の状況から写真展の延期等もやむをえない状況です。来年度は雲(霧)の課題で写真展を計画中です。

東村山写真クラブ 唐沢四郎



NPO法人文化協会加盟団体の動向

創立50周年

昭和45年7月に発足した東村山郷土研究会は、今年で創立50周年を迎えました。

郷土東村山の歴史、文化、民俗を研究し、また、市内、都内見学会を始め、毎年実施している宿泊研修では、関東、中部、東北地方などへも足を延ばし、国宝や国重文の研究も行っています。市内外の研究会と合同で見学会も行っています。

毎月発行の「郷土研だより」も来年500号になり、会員も現在102名で活動しています。

次代を担う青少年たちに郷土の歴史、文化を啓蒙し東村山市を理解するような働きかけを行っております。

本年度に「東村山郷土のあゆみ5」を発行します。

これまでに発行した冊子は「東村山の地名とそのいわ

れ」「東村山四方山話」「東村山ふるさと昔語り」「東村山とその周辺のことば」「東村山の川と水」「東村山郷土の歩み1〜4」等があります。

これらの冊子は「ふるさと歴史館、市立図書館」などでご覧になれます。

東村山郷土研究会 大井芳文

発行本の一部



北山たんぼ

編集コラム

東村山市文化協会加盟団体の活動をお伝えするコーナーですが、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各団体共に活動が自粛せざるを得ない状態が続いています。本誌面も盛り沢山の記事で飾りたいところですが、自粛・自粛であり各会員の活動する内容がなく、編集作業を行う上であまりにも記事のない状態です。本号の休刊もありでしたが、総会も書面による議決で異例となり、会長の交替、総会決議内容など早急にお知らせする必要があるとのことから発行に至りました。

特に感染リスクが高い同好会などでは総会なども出来ない状況です。

コロナ感染症が一日も早く収束することを願ってやみません。

編集員一同

議会ミニミニコンサート

平成10年3月議会よりスタートいたしました市議会ミニミニコンサートもお陰様でこの3月議会で87回目を迎えることができました。

議場ミニミニコンサートではアルジーロの二人の素敵なギターの音色が会場いっぱいに広がり、議員さんはじめご来場の皆さんを魅しました。

また、ロビーでは3月3日のひな祭りにちなんで3月議会恒例となっている人形百花会のひな人形を中心とした木目込み人形・押絵の展示が催されました。

予定していました抹茶接待は新型コロナ感染拡大防止のため中止と致しました。

6月議会では、張良二胡楽団の二胡演奏と東村山製本研究会による手作り本の展示を予定していましたが中止、続いて9月議会のミニミニコンサートも中止となりました。

一日も早く新型コロナが収束し議会ミニミニコンサートが開催されることを祈るばかりです。



第87回ミニミニコンサート (3月議会)

○ 議場ミニミニコンサート

演目: ギター・デュオ

出演: 「アルジーロ」

曲目

1. ララルー
2. 時は流れて・・・風は吹いている
3. 白い想い出
4. ワルツ・ピカピカ ～君の影になりたい～

○ ロビー展示

木目込み人形と押絵 「人形百花会」

賛助会員一覧

(株) 中 賀 堂	河 西 孝 道
(株)三光商会ベルホール	河 西 静 月
折笠歯科医院	ほしみ印刷(株)
東村山市日中友好協会	ビクター音楽認定教室終着駅
(株)国際思い出観光トラベルサービス	(有) 武 田 設 備 工 業
(株)キジマ・トータルプラン	(有) 赤 尾 杉 生 花 店
(有) 小 町 総 業	(有) い と う 屋
海 鮮 鮨 義	ボ ヌ ー ル ' 8 0
吼山流東村山金山吟詠会	栗 山 悟 子
本 多 幸 三	鈴 木 幸 子
(株) 義 乃 字	内 海 千 代 子
野 口 絵 美	(株) 大 黒 屋
村上音楽教育研究所	重 田 徳 子
新 義 友	高 橋 朗 子
(有) 餅 萬	田 宮 恵 美 子
吟 詠 萌 洲 流	溪月流東村山吟詠部
ヘアサロンたけむら	ギャラリー青らんぎ
(株) か い ば	ほうせん花美容院
(有)多摩湖ツーリスト	賛助会員の皆様にはご協力を感謝申し上げます。
東道流吟道陽春白雪会	
吟詠岳真流岳真吟詠会	
(有)介護センターきらら	
吼 山 流 廻 田 支 部	
カ ラ オ ケ 終 着 駅	
(株)サガミチェーン東村山店	
大 竹 迪 子	

文化協会ホームページ

URLは <http://hm-bunkyo.org/>
 或は「東村山市文化協会」
 と入力し、検索でアクセス
 できます。
 どうぞご覧下さい。

文化協会会員一覧

東村山市盆栽愛好会	菊の会 東村山グループ
東村山市吟詠連盟	押し花アート・しなの木
東村山郷土研究会	鮭っ子とトトロの会
東 村 山 短 歌 会	エベレスト合唱団
東村山市茶道華道睦会	楽描きクラブ
東村山お琴クラブ	アルジーロ
東村山写真クラブ	Kダンススタジオ
東村山市合唱連盟	張 良 二 胡 楽 団
東村山青年会議所	白 芽 会
東村山市書道連盟	有山光子フラグループ
東村山市歌謡カラオケ連盟	東村山昔話保存会
東村山邦楽友の会	水墨画さくら会
胡桜舞踊会	
サクマミサコフラグループ	
勝味うどん研究会	
東村山交響楽団	
勝 雲 会	
東村山製本研究会	
越中おわら風の華東村山社中	
東村山市福寿学苑会	
人 形 百 花 会	

編 集 後 記

本年は各団体とも新型コロナウィルス感染症防止の観点から、活動を自粛しており、市の行う行事も延期或は中止を余儀なくされております。本来であれば東村山市並びに加盟団体の文化活動の記事を掲載したいところですが、活動の自粛である文化活動が平常に戻ることを切に願うところであります。

広報部 唐 沢